

## 第5次新座市総合計画前期基本計画 施策評価シート（対象：令和5年度実績）

第4章 基本政策④ にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】

第3節 環境保全

### 施策2 循環型社会の推進

基本計画  
掲載頁 114～115

施策の達成状況	<b>B</b>	A：順調に推移した B：おおむね順調に推移した C：進捗が遅れた	成果	市ホームページにより資源ごみの適正な排出の啓発及び資源回収を実施や民間企業等との協力によるフードドライブの実施によりごみ減量化対策と資源循環の促進に取り組むことができた。 また、ふれあい収集の試験導入や志木地区衛生組合や構成市との連携を図り、ごみ処理体制の充実に取り組むことができた。
			課題	施策展開は現状のまま継続するが、ペットボトルの水平リサイクルやふれあい収集の要件拡大等新たな課題や、集団資源回収事業の将来的な見直しについて検討を進めていく。
今後の方向性	<b>I</b>	I：現状のまま継続 II：一部見直し等の余地がある III：抜本的な見直し等が必要	成果・課題を踏まえた今後の取組方針	施策展開については、おおむね現状どおり進めていく。 令和6年度策定予定の災害廃棄物処理計画については着実に取り組んでいく。

【参考】施策領域ごとのKPI<sup>\*1</sup>（重要業績評価指標）

項目	現状値 (策定期点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和5年度時点 達成度 <sup>*2</sup>	所管課
環境に関する講座・セミナーの開催回数	17回	27回					30回	<b>B</b>	環境課
温室効果ガスの排出量（市域・事務事業）	市域(R1)618.4千t 事務事業(R2)10,348t	市域(R3)613千t 事務事業(R4)10,276t					市域442.9千t 事務事業7,165.8t	<b>B</b>	環境課
設置可能な市保有建築物の太陽光発電導入率	28.80%	32.37%					43.60%	<b>A</b>	環境課
公用車における電動車の導入率	5.20%	7.40%					64.90%	<b>B</b>	環境課
ごみの総排出量	46,638t	44,431t					43,629t	<b>A</b>	環境課

\*1 KPIは「施策」ではなく「施策領域」ごとに設定しているものです。

\*2 【達成状況評価について】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：やや遅れ気味

## 主な施策展開の進捗状況

(1) ごみ減量化対策と資源循環の促進		施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○	ごみの発生抑制や再使用、再資源化を促進するため、啓発を行うとともに、家庭内の余剰食品の活用を図ります。	A（順調）	ファミマフードドライブの実施や十文字学園女子大学の文化祭でのフードドライブの実施により家庭内の余剰食品の活用を図った。	市民生活部	環境課
○	事業者に対し、ごみの適正処理を促すとともに、リサイクル資源の適正な排出など、ごみの再資源化・減量化について、啓発を行います。	B（おおむね順調）	事業者に対して、市ホームページにより資源ごみの適正な排出を促した。	市民生活部	環境課
○	町内会を始めとする市民団体によるごみの再資源化に向けた取組に対し支援するとともに、資源ごみの不正な持ち去りへの対策を進めます。	B（おおむね順調）	集団資源回収事業を通して、町内会や登録団体（137団体）の資源回収を実施した。 回収量：4,829t 奨励金交付額：14,485,956円	市民生活部	環境課
○	技術開発や社会情勢の変化などに応じ、新たな再資源化の方法を検討します。	B（おおむね順調）	ペットボトルの水平リサイクルである「B to B（ボトルtoボトル）」について、飲料メーカーとの取り組みを進めていく。	市民生活部	環境課
(2) ごみ処理体制の充実		施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○	確実で効率的なごみの収集・運搬体制を確保するとともに、災害時の対応やごみ出しが困難な世帯への支援策を推進します。	B（おおむね順調）	4月からふれあい収集を試験的に開始した。ケアマネジャーを通して申請受付することで、要件判断に支障なく実施できている。要件拡大について福祉部局と調整の上、検討していく必要がある。 集団資源回収については、一部事業者の高齢化等の影響もあり、将来的な事業の見直しについて検討が必要と考える。 災害廃棄物処理計画については、令和6年度策定に向けて予算措置の準備を行った。	市民生活部	環境課
○	安定的な収集運搬・処理体制の確立のため、志木地区衛生組合及び組合構成市と連携を図りながら、家庭ごみの有料化について検討を進めます。	B（おおむね順調）	第15回新座市民意識調査では、現状のごみ収集方法に85%の方が満足している結果であった。今後も志木地区衛生組合や構成市との連携を図っていく。	市民生活部	環境課
○	環境負荷の低減や効率的な中間処理・再資源化のため、志木地区衛生組合と連携して、ごみの分別収集体制などについて検討を進めます。	B（おおむね順調）	環境負荷の低減や効率的な中間処理・再資源化のため、今後も志木地区衛生組合や構成市との連携を図っていく。	市民生活部	環境課